

指定管理者評価表(外部評価シート)

資料1

1. 基本事項

施設の概要		指定管理の状況	
名称	可児市体育施設	指定名称	KSCグループ(代表団体:ミズノスポーツサービス株式会社)
所在地	可児市内12か所(別紙「指定管理施設一覧表」参照)	指定所在地	大阪府大阪市中央区北浜四丁目1番23号
設置目的	可児市体育施設は「スポーツを通じて、市民の健康増進、明るく豊かな市民生活の形成及び健全な青少年の育成を図る」ことを目的として設置。	指定管理期間	平成29年4月1日 ~ 令和4年3月31日(1期目)
		選定種別	<input checked="" type="checkbox"/> 公募・非公募 <input type="checkbox"/> 利用料金制 <input checked="" type="checkbox"/> 採用(一部・完全)・不採用
供用開始年月	別紙「指定管理施設一覧表」参照	業務内容	(1) 施設の管理に関する業務 (2) 施設の使用許可に関する業務 (3) 施設の使用にかかる料金に関する業務 (4) 施設の維持管理に関する業務 (5) 前(1)~(4)に掲げるもののほか、市長が必要と認める業務
施設所管部署	文化スポーツ部文化スポーツ課		

2. 施設の運営状況

① 利用状況

項目	平成29年度(1年目)	平成30年度(2年目)	令和元年度(3年目)	令和2年度(4年目)
開館日数	4,284 日	4,284 日	4,212 日	3,357 日
施設利用者数	320,887 人	331,512 人	330,715 人	190,756 人
施設稼働率	43.75 %	43.47 %	44.94 %	37.21 %

② 自主事業実施状況

項目	平成29年度(1年目)	平成30年度(2年目)	令和元年度(3年目)	令和2年度(4年目)
開催回数	132 回	250 回	195 回	116 回
参加人数	1,342 人	2,834 人	2,637 人	877 人

③ 主な自主事業の内容

実施年度	事業の名称等	参加人数
令和元、2年度	トレーニング講習会	520 人
令和元、2年度	ソフトテニス教室	463 人
令和元、2年度	健康エンジョイテニス(硬式)	263 人
令和元、2年度	ミズノソフトテニスカップ	586 人
令和元、2年度	ベースボールクラシック(市内少年野球の子供を対象に、各種野球記録会)	277 人
令和元、2年度	リフレッシュエクササイズ&ヨガ	197 人
令和元年度	ミズノビクトリークリニック(サッカー元日本代表による実技指導)	90 人

3. 収支状況

① 収入

単位:円

項目	平成29年度(1年目)	平成30年度(2年目)	令和元年度(3年目)	令和2年度(4年目)	
	実績	実績	実績	計画	実績
指定管理料	72,500,000	72,500,000	73,171,294	74,000,000	74,000,000
利用料収入	31,401,000	31,851,000	30,339,779	30,100,000	18,123,487
自主事業収入	3,536,000	7,527,000	5,772,470	4,467,000	2,306,199
負担金					6,870,000
その他					
収入計 A	107,437,000	111,878,000	109,283,543	108,567,000	101,299,686

② 支出

単位:円

項目	平成29年度(1年目)	平成30年度(2年目)	令和元年度(3年目)	令和2年度(4年目)	
	実績	実績	実績	計画	実績
人件費	26,300,000	27,912,000	34,477,783	29,500,000	36,580,029
管理費	57,573,000	51,613,000	52,746,995	59,000,000	45,611,107
事業費	4,590,000	4,013,000	4,007,375	4,360,000	5,099,390
事務費	7,396,000	10,658,000	11,255,431	9,510,000	9,257,234
事業経費	1,835,000	1,658,000	1,565,323	1,730,000	2,505,279
自主事業等	1,238,000	4,085,000	4,339,252	3,106,000	1,596,432
その他					
支出計 B	98,932,000	99,939,000	108,392,159	107,206,000	100,649,471
収支 A-B	8,505,000	11,939,000	891,384	1,361,000	650,215

4. 評価結果

区分	評価項目	評価内容	一次評価(施設所管課)		二次評価(選定評価委員会)	
			評価理由等	評価	評価理由等	評価
業務の履行	事業計画書及び協定書に掲げる業務の実施状況	事業計画書や協定書に掲げる業務が確実に実行されているか	概ね計画通りに実施することが出来ている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の拡大により、利用者の大幅な減少という結果となっているものの、仕様書・事業計画書に基づく事業の実施に当たっては、適宜計画を変更するなどの確に対応している。 ・職員研修、文書、帳簿の管理保管、設備・備品の保守管理並びに緊急時の対応も的確であり、指定管理業務は適切に実施されている。 ・管理対象となる施設が広域に亘っていることから、定期的に巡回して観察する際の深度を深めて、問題点の把握にさらに努めていきたい。 	B
	人員配置及び職員研修の状況	必要な人員が確保され、職員研修も実施されているか	各事業の担当等が決められており、業務を実施出来ている。また、職員研修も、新型コロナウイルス感染症対応にとまひミズノ社内でオンライン主体になるなど、対応がとられていた。	B		
	文書・帳簿の管理保存状況	管理業務に関する文書・帳簿は適切に整理保管されているか	適切に整備、保管されている。	B		
	施設設備・備品の保守管理の実施状況	管理施設の設備・備品の保守管理状況は適切か	適切に整備、保守管理が実施されている。	B		
	緊急時の対応方法	緊急時の対応マニュアルや事後の対応への備えができていないか	各種マニュアルを作成して、適切に整備、保管されている。前例のない新型コロナウイルス感染症の緊急時の対応で、施設閉館や再開などが行われた際に、市と緊密に連携をとりながら、利用者に混乱がおきないように対応できたことを評価します。	A		
	利用者の推移	利用者が特別な事情がないにもかかわらず前年度に比べ減少していないか	令和元、2年度は、新型コロナウイルス感染症という不可抗力による施設利用制限やスポーツ活動の自粛により、開館日数、施設利用、稼働率すべてが、減少した。	B		
サービスの水準	サービス向上及び経営改善に関する独自の取り組み	サービス向上等に向けた独自の取り組みは実施されているか	様々な資格を有した専門スタッフによる講座の開催など、スポーツ関連事業者というメリットを生かした自主事業を実施している。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・今般の新型コロナウイルス感染症のため利用者の大幅な減少など、事業運営に多大な影響も受けているものの、施設の閉鎖や再開などの周知に係る情報提供に当たっては、当市の所管課と緊密な連絡調整を図るとともに、素早かつ的確に、かつ、適切な対応を行っている。 ・バラエティにとんだ自主事業を幅広い年齢層の方に計画、実施しており、黒字を確保している。 ・利用者の満足度は高く、サービスの質の向上を意識しながら取り組まれており、苦情等にもその都度対応できている。 	B
	利用者満足度調査における施設満足度	利用者の施設満足度は高いか	年1回満足度調査を実施した結果は、感謝のコメントが多く、満足度は高い。	B		
	PR・情報提供の実施状況	様々な方法により、積極的なPRや情報提供が行われているか	新型コロナウイルス感染症対応により、短い周知期間での利用者への情報提供が要求された。そのような中、周知情報の内容により、ホームページや対象者を絞ったポスティングなど適宜実施している。	A		
	苦情処理の状況	苦情に関する帳簿が作成され、内容は職員に周知され、適切な対応がなされているか	苦情を含むご意見やご感想に関する記録簿を作成して、その内容について情報共有し、適切に対応している。	B		
収支状況	指定管理経費の経理事務の状況	指定管理費に関する経理事務は適正に行われているか	指定管理に関する経理事務は、独立監査法人の監査等により、適切に行われている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者(法人)の経営状況は、極めて安定している。 ・指定管理業務に係る収支は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり支出が収入を上回っているものの、自主事業の実施分により、黒字を確保している。 	B
	指定管理者施設の財務状況	指定管理者施設の財務状況は適正か	新型コロナウイルス感染症の利用料収入の減少により、令和元年度、令和2年度ともに管理運営事業が赤字であった。自主事業では、黒字を確保しており、管理運営事業及び自主事業を加えた総収支では、黒字を確保している。	B		
総合評価			令和2年1月以降からの新型コロナウイルス感染症拡大により、施設利用制限やスポーツ活動の自粛が行われた。このため、開館日数、利用者数、稼働率のすべてが減少した結果、利用料収入が減少した。また、施設利用制限による施設閉鎖、営業時間短縮、新規受付中止や施設再開など今までにはない業務遂行が必要とされる中、市と緊密に連携をとりながら、利用者に混乱がおきないように対応した。新型コロナウイルス感染症という自然災害に近い不可抗力により、利用者数の減少や財務状況が悪化した。指定管理者の経営努力により、この数値にとどめたことを評価する。	B	「所見」欄に記載	B

所見	<ul style="list-style-type: none"> ・施設全体が明るい雰囲気、清掃も行き届いており、設備の管理についても問題なく実施されている。 ・新型コロナウイルス対策として、指定管理者と市が緊密に連携しながら、利用者に混乱が起きないように対応できたことや職員研修がオンライン主体で組織的に実施できており、時代の流れに応じて柔軟に対応できていることなどが、評価できる。 ・新型コロナウイルスの影響が続くと考えられ、その対策を踏まえた施設利用の方法を検討していただき、様々な人々が身体を動かすことやスポーツを楽しめるように創意工夫していただきたい。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、利用率の低下や、収支面において多大な影響を受けているが、そのような中でも、多種・多様な自主事業を実施することで、施設の有効活用を図ることに腐心している。 ・利用者からのアンケート集約に当たっては、アンケートの実施方法に工夫をこらし、更に利用者のニーズの把握に努め、利用者の満足度を高めていけるように取り組んでいただきたい。 ・新型コロナウイルスの影響を受け、管理も大変であるが、市民のみなさんの健康のため、努力され運営していただいていることに感謝する。 ・業務実施に伴い、新型コロナウイルス対策も加わり、神経を使う日々を過ごされたことやその努力に感謝申し上げます。 ・新型コロナウイルス対応で計画通り実施できなかった事は、やむを得ないと考える。利用が少ない時こそ、その余力を通常出来ないことに傾注する取り組みが必要である。
----	---

5. 参考(評価基準)

① 区分別評価基準

◆業務の履行

評価	内 容
A	適切に実施されており、より効果的に業務が実施されている
B	適切に実施されており、特に改善等を要する事項はない
C	おおむね適切に実施されているが、その一部に改善を必要とする事項が見受けられる
D	要求事項が実施されてないか、実施されていても適切ではないため大幅な改善が必要である

◆サービスの水準

評価	内 容
A	サービス水準の向上が認められ、独自の工夫も多く見受けられる
B	サービス水準はおおむね維持されている
C	サービス水準の一部に低下が見られ、サービス向上の努力が必要である
D	サービス水準が低下していると認められるため、サービス向上に向けた大幅な改善が必要である

◆収支状況

評価	内 容
A	収支は計画に比べ向上が見られる。財務状況も良好である
B	収支はおおむね計画どおりと認められる。財務状況は良好である
C	収支のいずれか、又は両方が計画を達成していない。財務状況は良好である
D	収支のいずれも計画を達成していない。財務状況も良好とはいえない

② 総合評価基準(評価指標の①②のいずれかの基準を採用し、評価を決定する)

評価	内 容	
A	①	全ての評価がB以上で、Aの割合が60%以上である
	②	適切に実施されており、評価できる点が多く、改善が必要と思われる重要事項もない
B	①	全ての評価がB以上で、Aの割合が60%未満である
	②	おおむね適切に実施されており、評価できる点もあるが、軽微な事項を含め改善が必要な事項がある
C	①	A・Bに該当せず、Dの割合が30%以下である
	②	適切に実施されている部分もあるが、改善が必要と思われる重要な事項もある
D	①	上記のいずれの評価にも該当しない
	②	改善が必要と思われる重要な事項が多く、早急な改善が必要である